

解答は、すべて答案用紙に記入してください。

3 級

簿記検定模擬試験

第 1 回

問題用紙

(制限時間 2 時間)

最速簿記

受験者への注意事項

1. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
2. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。

模擬試験（第1回） ～問題～

制限時間：2時間

第1問（20点）

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。なお、消費税については、指示がある取引についてのみ考慮すること。

現金	普通預金	売掛金	未収入金	仮払消費税
仮払法人税等	備品	買掛金	未払金	仮受金
仮受消費税	未払消費税	未払法人税等	所得税預り金	未払配当金
資本金	繰越利益剰余金	利益準備金	備品減価償却累計額	売上
固定資産売却益	仕入	減価償却費	租税公課	固定資産売却損

1. 中間申告を行い、法人税¥500,000、住民税¥100,000 および事業税¥150,000 を現金で納付した。
2. 出張中の従業員から普通預金口座へ¥45,000 の振込みがあったが、詳細は不明である。
3. 株主総会で繰越利益剰余金¥2,000,000 について次のとおり処分することが承認された。
株主配当金：¥300,000
利益準備金の積立て：¥30,000
4. 当期の期首（×9年4月1日）に、備品（取得日：×7年4月1日、取得原価：¥600,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：5年、減価償却方法：定額法、記帳方法：間接法）を¥300,000 で売却し、代金は小切手で受け取った。
5. 仕入先山梨株式会社から商品¥200,000（本体価格）を仕入れ、代金は8%の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税については税抜方式で記帳する。

第2問（10点）

福岡株式会社が行った取引は次のとおりである。それぞれの取引が、答案用紙に示したどの補助簿に記入されるか、該当するすべての補助簿の欄に○印を付しなさい。

1. 宮崎株式会社より商品¥50,000 を仕入れ、代金のうち¥20,000 は小切手を振り出し、残額は約束手形を振り出して支払った。
2. 広島株式会社より土地¥5,000,000 と建物¥2,000,000 を購入した。購入代金のうち¥1,000,000 は現金で支払い、残額は翌月末支払うこととした。
3. 三重株式会社から先月受け取った約束手形¥100,000 の支払期日が到来し、当社の当座預金口座に入金された旨の連絡が取引銀行より届いた。
4. 仕入先宮崎株式会社に対する掛代金¥30,000 を現金で支払った。
5. かねて埼玉株式会社へ売り上げていた商品¥50,000 について品違いによる返品を受け、掛代金から差し引くこととした。

模擬試験 ～解答・解説～

第1問（20点）仕訳問題

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仮払法人税等	750,000	現金	750,000
2	普通預金	45,000	仮受金	45,000
3	繰越利益剰余金	330,000	未払配当金	300,000
			利益準備金	30,000
4	現金	300,000	備品	600,000
	備品減価償却累計額	240,000		
	固定資産売却損	60,000		
5	仕入	200,000	買掛金	216,000
	仮払消費税	16,000		

仕訳1つにつき4点。合計20点。

解説

1. 法人税等の中間納付

法人税等（法人税、住民税および事業税）の中間申告を行ったときは、『仮払法人税等』（資産）で処理し、借方に記入します。

2. 仮受金

内容が不明である入金があったときは、『仮受金』（負債）で処理し、貸方に記入します。

3. 剰余金の配当と処分

株主総会で繰越利益剰余金の処分について承認されたときは、『繰越利益剰余金』（純資産）を減らす処理をします。

また、株主配当金については『未払配当金』（負債）、利益準備金の積立ては『利益準備金』（純資産）で処理します。

4. 固定資産（備品）の売却

売却日が期首であるため、前期末までに計上されている減価償却累計額と備品の取得原価を減額します。取得日が×7年4月1日、前期末が×9年3月31日なので、減価償却累計額は2年分の減価償却費の金額となります。また、受け取った代金を加味し、貸借差額で売却損益（本問は『固定資産売却損』）を計上します。

備品減価償却累計額： $\text{¥}600,000 \div 5\text{年} \times 2\text{年} = \text{¥}240,000$

5. 商品の仕入、消費税の処理

商品を仕入れたときは、『仕入』（費用）で処理し、借方に記入します。

その際、仕入の金額は商品の本体価格（消費税抜きの金額）とし、支払った消費税は『仮払消費税』（資産）で処理し、借方に記入します。

仮払消費税： $\yen 200,000 \times 8\% = \yen 16,000$

第2問（10点）補助簿の相関関係

取引 補助簿	1	2	3	4	5
現金出納帳		○		○	
当座預金出納帳	○		○		
受取手形記入帳			○		
支払手形記入帳	○				
仕入帳	○				
売上帳					○
商品有高帳	○				○
売掛金元帳(得意先元帳)					○
買掛金元帳(仕入先元帳)				○	
固定資産台帳		○			

各問○がすべて合っていて2点。合計10点。

解説

各取引の仕訳を行い、仕訳の勘定科目から補助簿を選択します。

各取引の仕訳は次のとおりです。

- | | | | | |
|----------|---|--------|----------|--------|
| 1. (借) 仕 | 入 | 50,000 | (貸) 当座預金 | 20,000 |
| | | | 支払手形 | 30,000 |
- | | | | | |
|----------|---|-----------|-------|-----------|
| 2. (借) 土 | 地 | 5,000,000 | (貸) 現 | 金 |
| | 建 | 2,000,000 | 未 | 払 |
| | 物 | | 金 | 6,000,000 |
- | | | | |
|-------------|---------|----------|---------|
| 3. (借) 当座預金 | 100,000 | (貸) 受取手形 | 100,000 |
|-------------|---------|----------|---------|
- | | | | | |
|------------|--------|-------|---|--------|
| 4. (借) 買掛金 | 30,000 | (貸) 現 | 金 | 30,000 |
|------------|--------|-------|---|--------|
- | | | | | | | |
|----------|---|--------|-------|---|---|--------|
| 5. (借) 売 | 上 | 50,000 | (貸) 売 | 掛 | 金 | 50,000 |
|----------|---|--------|-------|---|---|--------|

売上・仕入については商品の移動をとまなう取引であるため、商品有高帳にも記帳が必要となる点に注意してください。

模擬試験（第1回） ～答案用紙～

第1問（20点）

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

第2問（10点）

取引 補助簿	1	2	3	4	5
現金出納帳					
当座預金出納帳					
受取手形記入帳					
支払手形記入帳					
仕 入 帳					
売 上 帳					
商品有高帳					
売掛金元帳(得意先元帳)					
買掛金元帳(仕入先元帳)					
固定資産台帳					